

2025年度 医療法人玉水会 看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画

2025.04作成

NO	取り組み内容項目		2025年度の目標	目標達成のための行動計画	達成度項目
1	業務量の調査		働きやすい職場環境作りの推進	1. 職場環境づくりの推進 ①業務量に応じた看護職員の配慮の検討と実施をする。 ②業務改善を検討・試行・評価を行う。 2. 委員会や会議の効果的な運営 ①委員会や会議の参加者及び時間の工夫 ②会議録作成に伴う時間確保の共有や検討	施設基準看護職員配置 超過勤務時間の縮小
2	看護職員と他職種との業務分担	地域連携室 (SWS)	入退院支援の推進	1. 病棟での退院支援に関する課題抽出と対策の検討を行う。2. 各職種の専門性を考慮した多職種カンファレンスの運営状況を共有する。	病床稼働率
		薬剤科	薬剤師との連携強化	1. 現場での問題を共有し問題解決の取り組みを行う。 2. 新たに取り組んだ内容については定期的に評価し必要に応じて改善する。 3. 薬剤師との情報共有を密に図り円滑なチーム医療に繋げる。	会議開催の回数
		リハビリテーション科	早期リハビリテーションの推進	1. 早期リハビリテーションについての課題抽出と対策の検討を行う。 2. 療養環境についての課題抽出と対策の検討を行う。 3. FIMの周知を図り、FIM実施と評価のすりあわせをリハビリテーション科と行う。	在宅復帰率の保持
3	看護補助者の配置		看護補助者の人材育成と協働推進	看護補助者の人材育成 1. 看護補助者の業務に関する業務基準や業務マニュアルの評価及び修正 2. 看護補助者への教育研修を行う 3. 定期的な会議開催を行い課題の抽出を対策の検討を行う。	看護補助者の定着率
4	多様な勤務形態の導入		業務量の平準化を図る	1. 繁忙期やワークバランスを考慮した勤務管理 2. 看護業務量に応じて早出・遅出等を活用した看護職員の配置を実施する。 3. 病棟や外来等の応援態勢を確立する。	超過勤務時間の短縮
5	夜勤負担の軽減		1. 稼働率などを考慮した夜勤看護職員数の配置 2. 夜勤専従看護職員の採用	1. 急性期入院基本料6の施設基準を遵守しつつ稼働率などにより夜勤者数の検討を行う。 2. 看護業務量に応じて早出・遅出等を活用した看護職員の配置を実施する。 3. ホームページや広告での募集更新、人材派遣会社の活用を行う。	施設基準の評価 採用人数
6	妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮		夜勤の減免制度の活用	1. 妊娠中、本人の申請により深夜の勤務を減免する。	利用看護師数
			育児・介護短時間制度活用 育児目的休暇の活用	1. 育児短時間・介護時間勤務制度の活用により多様な勤務形態の導入及び選択	利用看護師数